

甲斐市議会議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 平成30年12月19日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（9名）

委員長	清水正二君	副委員長	五味武彦君
	伊藤毅君		金丸幸司君
	滝川美幸君		松井豊君
	有泉庸一郎君		内藤久歳君
	藤原正夫君		

議長	長谷部集君	副議長	小澤重則君
----	-------	-----	-------

欠席委員（なし）

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	岩下和也	書記	興石文明
書記	小澤裕一	書記	中込美智子

議題

- 1 第2回議員アンケート集計結果について
- 2 その他

開会 午前11時16分

○書記（輿石文明君） 本会議お疲れさまでした。

ただいまから議会改革特別委員会を始めさせていただきます。

初めに、委員長挨拶、清水委員長、お願いいたします。

○委員長（清水正二君） どうも12月議会ご苦労さまでした。

お疲れのところでございますので、早速きょうの議題に入るということで始めたいと思います。ぜひご協力をお願いいたします。

挨拶を終わります。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

続きまして、議長挨拶、長谷部議長、お願いいたします。

○議長（長谷部 集君） 本会議定例会終了間もなくということで大変ご苦労さまでございます。

慎重審議どうぞよろしくお願いいたします。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

それでは、議事の進行につきましては清水委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（清水正二君） ただいまの出席委員は9名です。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

○委員長（清水正二君） 本日の会議を開きます。

それでは、内容に入ります。

内容1の第2回議員アンケート集計結果についてを議題といたします。

初めに、事務局の説明を求めます。

輿石係長。

○書記（輿石文明君） それでは、資料の1ページをお願いいたします。

第2回議員アンケート集計結果についてご説明いたします。

（1）議員定数について。

設問1、「議員定数の直しは必要ですか」、「はい」と答えた方が12名で、「いいえ」が10名です。右側は前回のアンケート結果を表示しております。

次に、設問2、「見直しの場合、何人の議員定数ですか」、記載なしは10人、定数「20人」は5人、「18人」は5人、「16人」は1人、「19または20人」が1人でございます。

次に、設問3、「見直しの場合、3常任委員会の数をどうしますか」、「現状」と答えた方が12人、記載なしは6人、「2常任委員会」が3人、「？」が1人です。

次に、設問4、「議員報酬が月額35万円のままでも議員定数の削減は必要ですか」、今回新規の設問になります。「いいえ」が14人、「はい」が6人、記載なしが1人、「？」が1人でございます。

資料の2ページをお願いいたします。

(2) 議員報酬について。

設問1、「議員報酬月額35万円の見直しは必要ですか」、「はい」が14人、「いいえ」が7人、記載なしが1人でございます。

次に、設問2、「見直しの場合、月額どれぐらいですか」、「40万円」が8人、記載なしが8人、「45万円」が3人、「42万円」が1人、「50万円」が1人、「最低50万円」が1人でございます。

次に、設問3、「定数を削減した場合は、議員報酬月額35万円はどのようにするべきですか」、「増額」とお答えになった方が14人、記載なしが4人、「現状維持」が3人、「？」が1人でございます。

次に、(3) 議員定数及び報酬に対する意見、自由記載でございますが、資料の10ページから11ページに記載がしてあります。

資料の3ページから9ページにつきましては、各設問の回答理由の記載でございます。網かけは回答の種類がわかるように色づけをしております。「はい」とか「いいえ」とか、「20人」とか「18人」とか、わかりやすいように色づけをさせていただいております。

また、別紙のこちらのA3のアンケート一覧表につきましては、22人がどのように回答したかご確認をいただきたいと思っておりますので、参考にさせていただきたいと思っております。

説明は以上でございます。

○委員長（清水正二君） 説明が終わりました。

アンケートの中でご不明な点等、ご意見がございましたらお伺いしたいと思いますけれども、今お配りしたばかりなので、すぐにはないかと思っておりますけれども、分析について何かご

意見等ございますか。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） 今このアンケート結果の（１）を見ているんですけども、前は「見直しが必要ですか」の「はい」が16人いたんですよ。今回大きく変わっているんです。大きくとは言わないけれども、「はい」が12人に減って、「いいえ」が10人になった。ということは、随分意見が少しずつ変わってきているのかなと。この辺をどういうふうに解釈すべきか、今後どういうふうはこの委員会をどう持っていくか、この辺非常に重要な要素ではないかなというふうに思うんですが、いかがなんでしょうかね。随分10人と6人ですか、「はい」のほうが12対16ですか、随分これ意識が変わっている部分があるので、この辺皆さん方の意見どうなのかなと思って。

○委員長（清水正二君） その点については、当然いろいろな形の中でアンケートをとった結果なんですけれども、いろいろな状況の中でやはり議員それぞれにそういった意識とかいろいろなものが変化していくんだとは感じております。そういう中で、今回このアンケートをとって、また議員各位に配付いたしまして、全員協議会で皆さんの意見を聞いて、その中でまた意識が変動する場合もあるかと思っておりますけれども、そういった流れの中でそれを受けて全員協議会の意見を受けて、特別委員会でもまたそのところを絞り込んで方向性を出していきたいというふうに思っています。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） これのアンケートをとる目的というのは前回とどのように考え方が変化したかというのは、これ今五味委員が言ったように出てきていますよね。それで、今回委員会の進め方としては、これを踏まえて各議員にこれを配って全協を開いて、一応意見を言ってまたどこに持っていくかという流れだと思うですよ。だから、今ここでこの件に関してどうだこうだといっても、なかなか今配られたばかりで、今一番重要なところのものがあるということなんでしょうけれども、そんな形で進めていながら、全協の中でそれぞれの意見を出してもらって、それを受けてこの改革の中でどのように集約していくかという流れだと思うんですよね。だから、今きょうここで、これでどうのこうのということの議論をしても余り意味がないかなというふうに思っています。

それと同時に、1つは事務局には非常に感謝したいと思いますし、14日に締め切って、きょうここまでまとめ上げたということは非常に大変な苦勞だったと思います。そういう点で、事務局には感謝したいなというふうに思います。

以上です。

○委員長（清水正二君） ありがとうございます。

まさに私の意図も内藤委員の言われるそういった形ですけれども、そういう中で、また事務局のほうもきょうの改革委員会に間に合わせてアンケートを集計していただいたというふうな中で、これをお配りして全協を伸ばした理由にもあるんですけれども、皆さんにもこれをアンケートの中身をやっぱりいろいろ各議員の意見というものを精査していただいて、また全協にこれを意見等をいただく上で参考にさせていただくという意味合いでございますので、本日は内藤委員の言われるように、またそういった形でこのアンケートの中身をまた各自、委員の皆様が見ていただいて、次の議会改革特別委員会のときにまたいろいろなご意見をいただきたいというふうに思います。

そのような形でよろしいですか。今回はアンケートをお配りして、それをまた精査していただくという形で行きたいと思います。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） これを配付する時期というのはもうこれが終われば即配付という形でいいですか。

○委員長（清水正二君） きょうこの改革委員会でアンケートを報告していただければ、すぐにお配りできる形になっています。配布のほうは事務局で。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） 全員協議会の通知と一緒に本日中にメールボックスのほうへ投函したいと思います。また、ファクスにより連絡も入れておきます。

以上です。

○委員長（清水正二君） そのような形でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、以上で第2回議員アンケート集計結果についてを終わります。

続いて、（2）その他を行います。

まず、次回のご案内がありましたように、1月8日火曜日の午後1時半から全員協議会を開催いたしまして、全議員の意見徴収を行います。その後の予定ですけれども、1月16日水曜日ですね、午後1時半から議会改革特別委員会を開催したいと思います。よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） では、日程的に対話集会等ありますけれども、非常に厳しい中ですが、ぜひご協力をお願いいたします。

それでは、次回の特別委員会は1月16日ということで決定させていただきます。

その後の予定ですけれども、議会改革特別委員会を1月31日木曜日の午後1時半から行いたいと思います。それから、2月4日月曜日ですね、対話集会のリハーサルを行いたいと思います。それから、2月7日が対話集会の当日という流れで予定を組んでいきたいと思います。リハーサルは、2月4日。時間のほうは、追ってまた事務局とほかの日程をあわせながらしたいと思います。

[「すみません、もう一度お願いします」と呼ぶ者あり]

○委員長（清水正二君） はい。次の議会改革特別委員会を1月16日1時半から、その後といたしまして1月31日の木曜日午後1時半から、対話集会のリハーサルを2月4日月曜日ですね。対話集会当日が2月7日でございますので、よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○委員長（清水正二君） それでは、そのような流れで行きたいと思います。

ほかに委員より何かその他ございましたら。ございませんか。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） なければ、議長のほうから何かありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（清水正二君） 事務局。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○委員長（清水正二君） なければ、その他を終了いたします。

以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして議会改革特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午前11時30分